

もくじ

- ・ エントツそうじとひつじかい

エントツそうじ
と
ひつじかい

げんさく
原作： アンデルセン^{どうわ}童話

イラスト： さくらい みゆき

へんしゅう
編集： YellowBirdProject

3

ここは、とある家の子ども部屋です。この部屋には、
子どものおもちゃがたくさんありました。ふかふかの
ぬいぐるみや、木の人形、ピエロが飛び出す
びっくり箱など。

おもちゃたちは、昼間人間たちが起きているうちは、
みんなじっとしていましたが、夜になり、人間たちが
眠りにつくと、それぞれ動き出し、おしゃべりを
したり、歌を歌ったりと、楽しく過ごしていました。

「やあマリー、こんにちは！」

「こんにちは、ロラン。ごきげんいかが？」

羊飼いの女の子の人形にあいさつをしたのは、
煙突掃除の格好をした、男の子の人形でした。

煙突掃除の『ロラン』と、羊飼いの『マリー』は、
お互いに恋をしていました。



さて、このロランとマリーが楽しそうに話している姿を、遠くから見つめている男がいました。彼は、この部屋のおもちゃたちから『ヤギ将軍』と呼ばれている、戸棚に彫られた木の彫刻でした。

「ロランめ、汚らしい煙突掃除のくせに、マリーとなれなれしくしおって・・・」

実はヤギ将軍も、マリーのことが好きだったのです。

マリーには、もう一人、仲の良い人形がいました。みんなから『グランパ』と呼ばれている、首の部分がバネになっている、首振り人形のおじいさんでした。マリーはグランパに、色々なことを相談していました。

その日もマリーは、グランパの元へいきました。

